

KODAK Gray Scale

C Y M

Kodak LICENSED PRODUCT

丸

補播新

為尔春水綴

膏

西園

梅

校

燄

Handwritten notes on a slip of paper, including the characters '丸' and '膏'.



13  
3086  
5

9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30



新增補 第九編  
西國奇談

新題西國奇談

喜鶴堂版

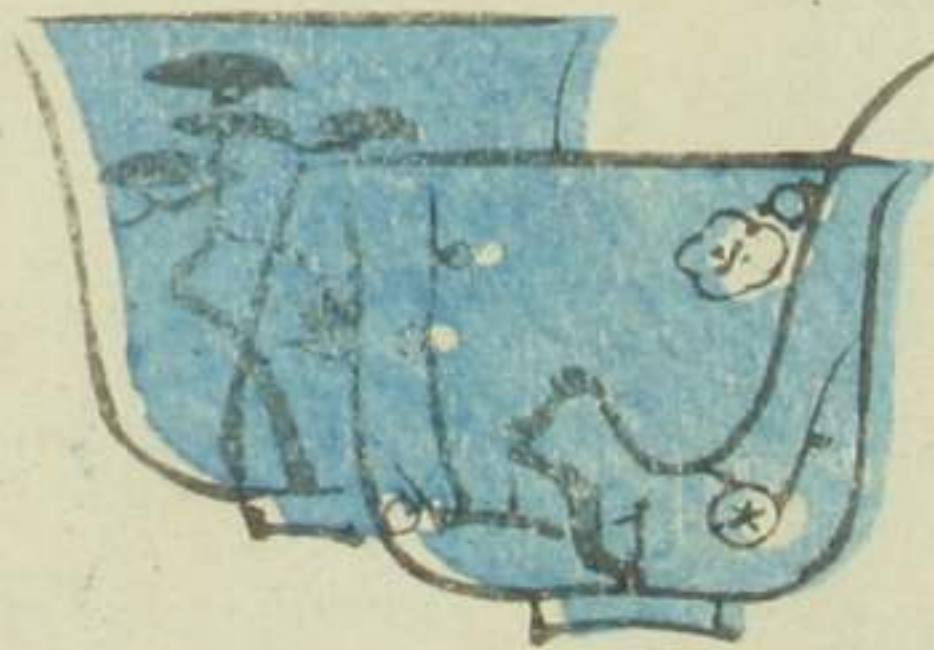
上

特  
へ13  
3086  
5

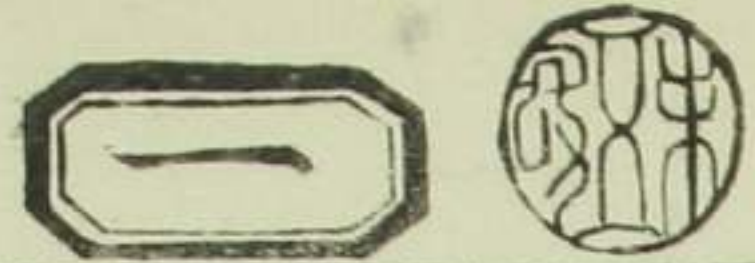
新增補  
西國奇  
談九篇  
上之卷

めくふよとあさく一ふあ  
くはらるる

木版



三三三



曲はるもの直き成損ひ邪あるもの正きを害すその  
 曲はる成曲はると知り直き成直きと知る夏ハ明君  
 賢主も最巨り況て庸人ふおろくをや既小這編  
 开処ふいりり宗重が驕奢小募り嬖妾阿竜が邪曲の  
 一段その禰漆を倣んとく那二面次が倂倂あり赴を  
 若も説出さふ楮上僅ふ二十員憶ひ成舒んとまろくらふ只  
 徒ふ編數嵩とて所謂下手の長談義我面白の人置死  
 所爲ふ似らねど復來稔の春の仕込成今歳うら編も久き  
 たは夏鬼が听あ腹をや抱えん

己未晚春藁成  
庚申初春發市

爲永春水記焉



阿  
竜

宗  
重









一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

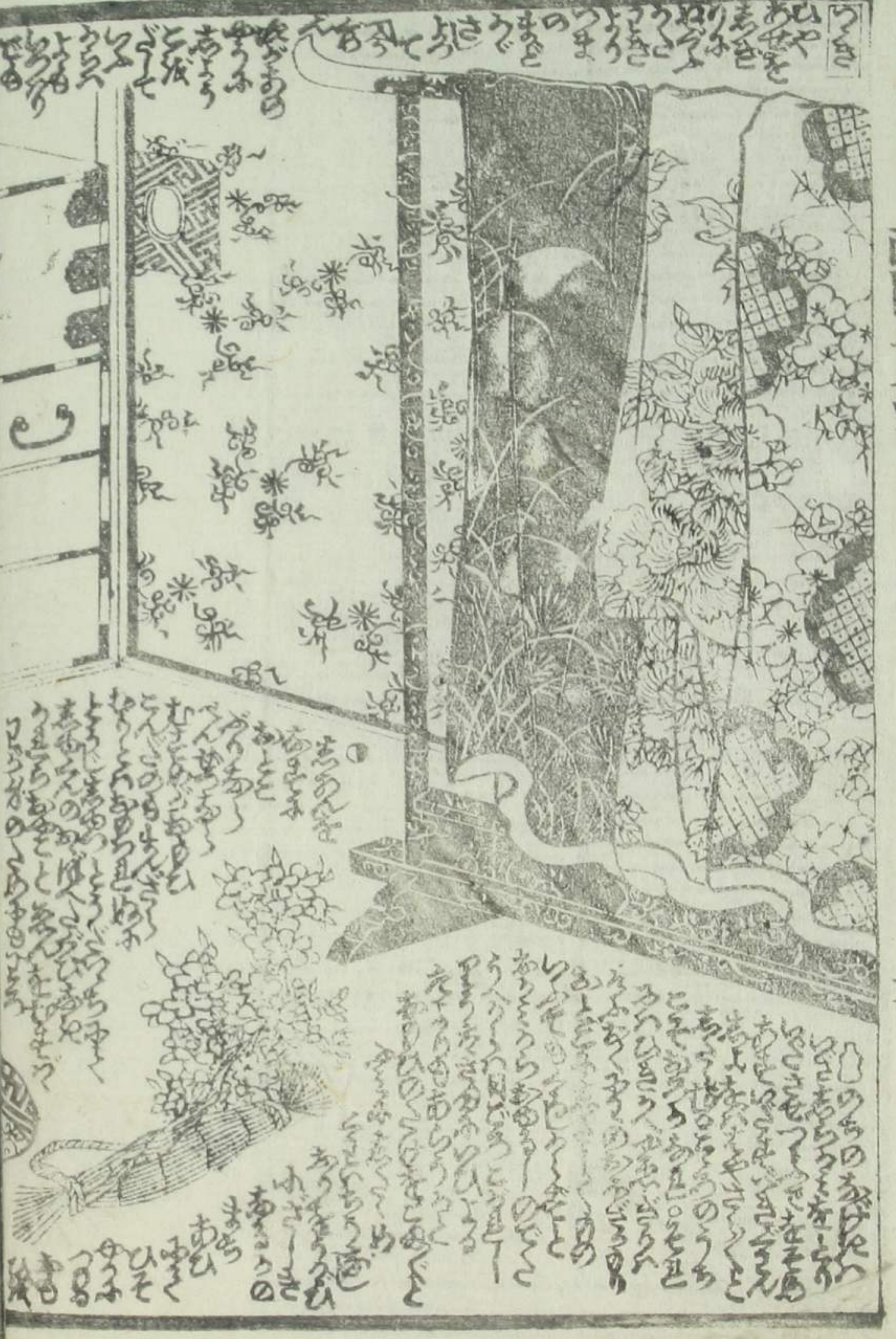


一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

西国昔言ナ

西国昔言ナ





四ノ小 六ノ一

四ノ小 六ノ一

六ノ一







つぎにたぬりまがらう中へ  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし

此画の  
お林が  
かこりお  
領せんし

あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし

あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし

あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし

あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし  
あつたをうかひひりし

トキの神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり  
あはれなる神のあはれをうけしるるものなり



# 國貞画 春水補綴

國貞画

## 西國

### 奇談

#### 春水補綴

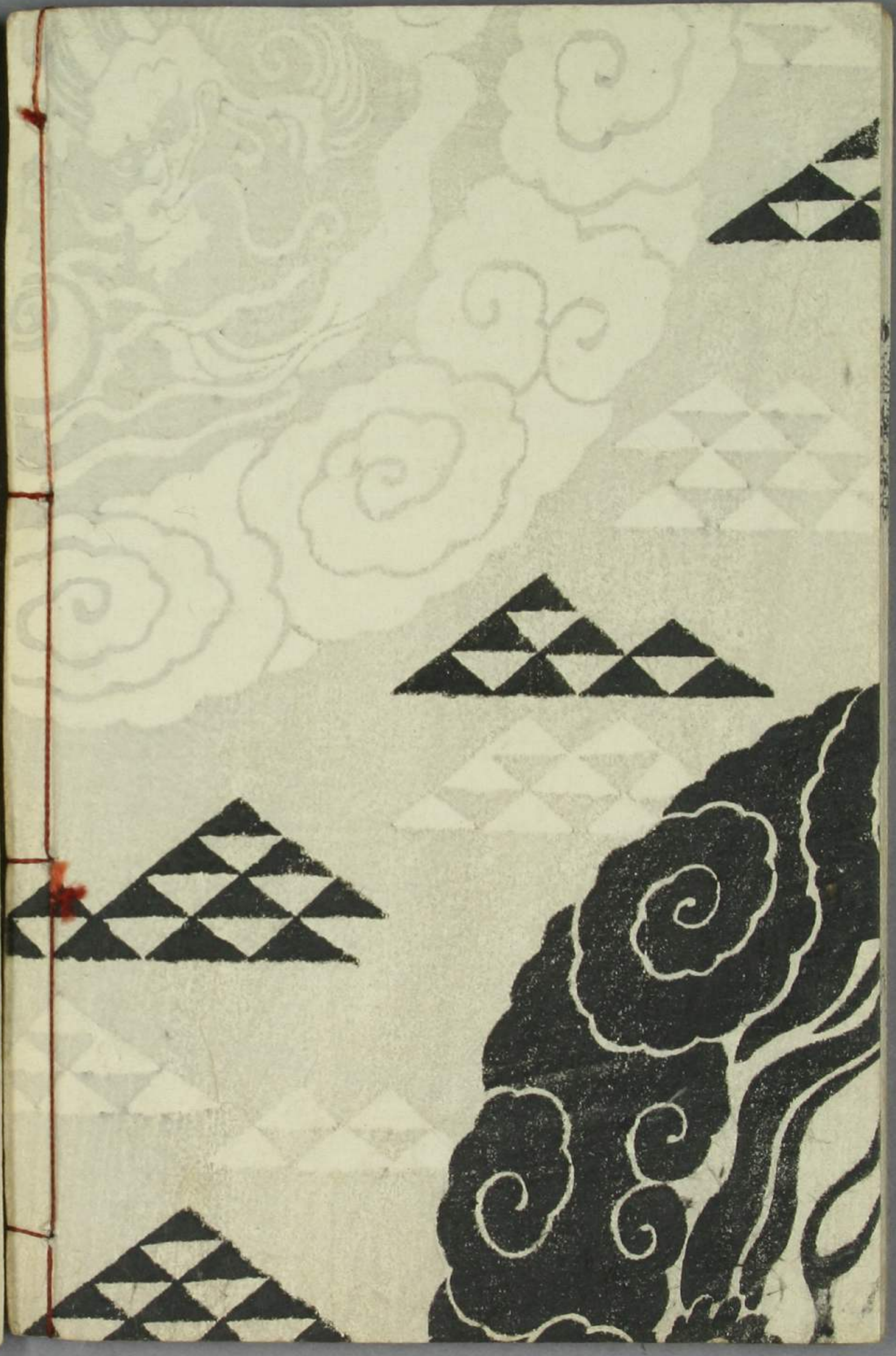
#### 國貞画

十編(五面)次(序)計と叫り、重相及伏きんととると何杉が忠義の  
りのり工面次(只)管婚と促し、及方便の裏とかれ暗小醜婦を  
取する一段話説かいつく何童とて残毒とて一舎むの(一)編(十)編の  
か童が浴室あり、虚井の守袋とてそのおれ、誓言とてとて  
及向苦の計あり、かの秋風を欺く一段譚で、最巧みなり  
十二編(秋)風虚井毒手あり、て終非命の死とて、殺生石の  
一奇談のしく龍太郎、侍あり、此間(五)面次(八)重相とて  
も説く、つたれお逢う、當年の内、お出板あり、

## 根源實紫新刻概畧

作者 柳亭種彦

十三編 惟規の北海の危難鳴高他を謀り、自のつ天の網船、抜手兒釣出す花園  
の遊宴、式部が画賛、呪詛の種村心の火性、小浮氣の水性、者、妙術、醜婦、忍  
美人、化、十四編 小鮮の食嗜、水の即吟、も、階の宇、依、更、宣、孝、宰、府、の、か、り、寐  
夢の中、る、幻の譚、お始り、現のやうな、夢中、の、奇、遇、の、半、は、て、十五編 心筑紫の夢、覺、た、た、の  
信、お渡、て、灌、袖、の、淺、七、管、紋、講、香、お、節、お、死、て、室、苗、本、お、か、り、飲、わ、れ、又、悲、式、部、竟、の、談、お、は、る



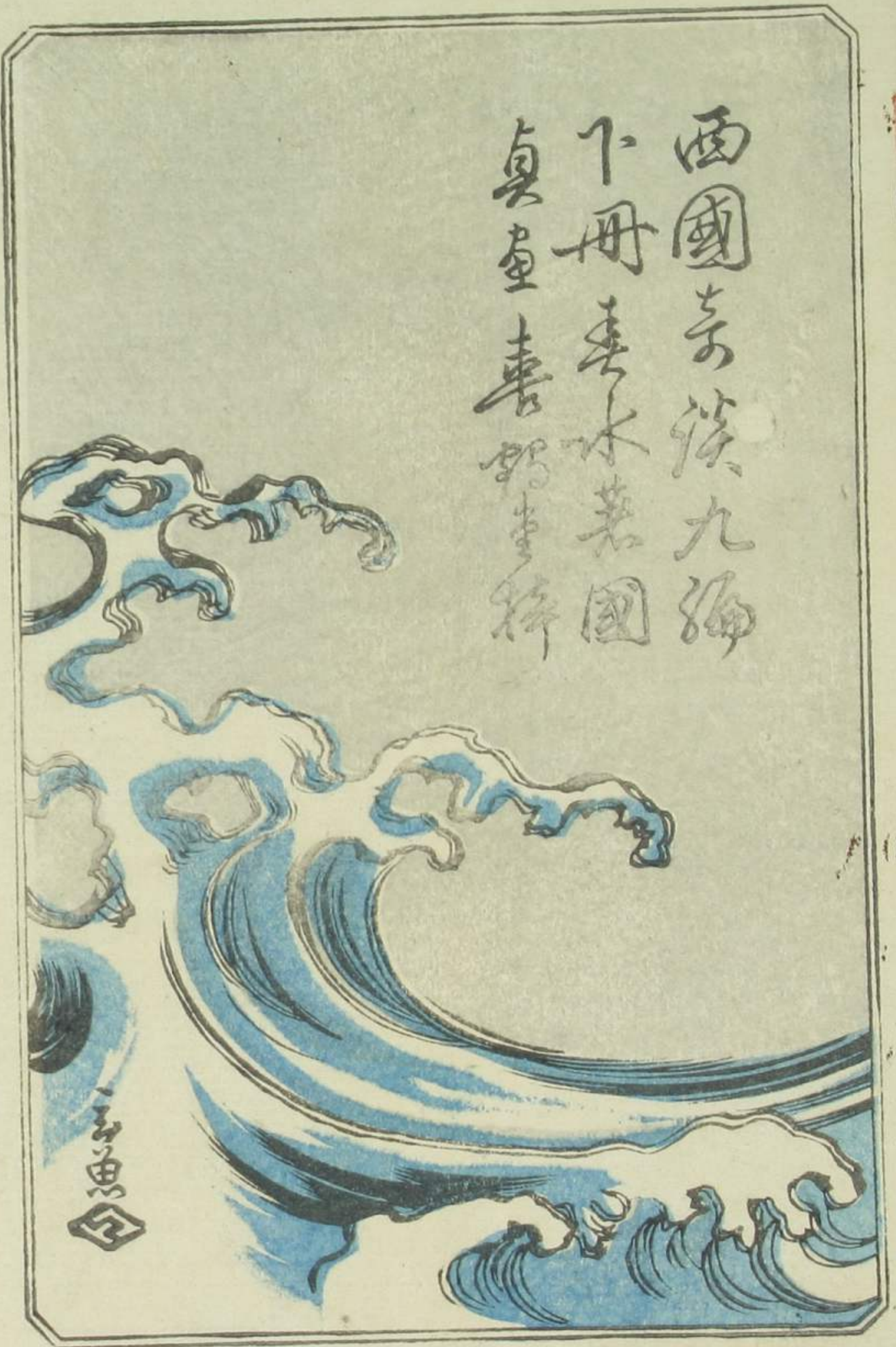
三



西國奇談九

十一

西國奇談九編  
下冊 春水若國  
貞直 喜郎 幸精

















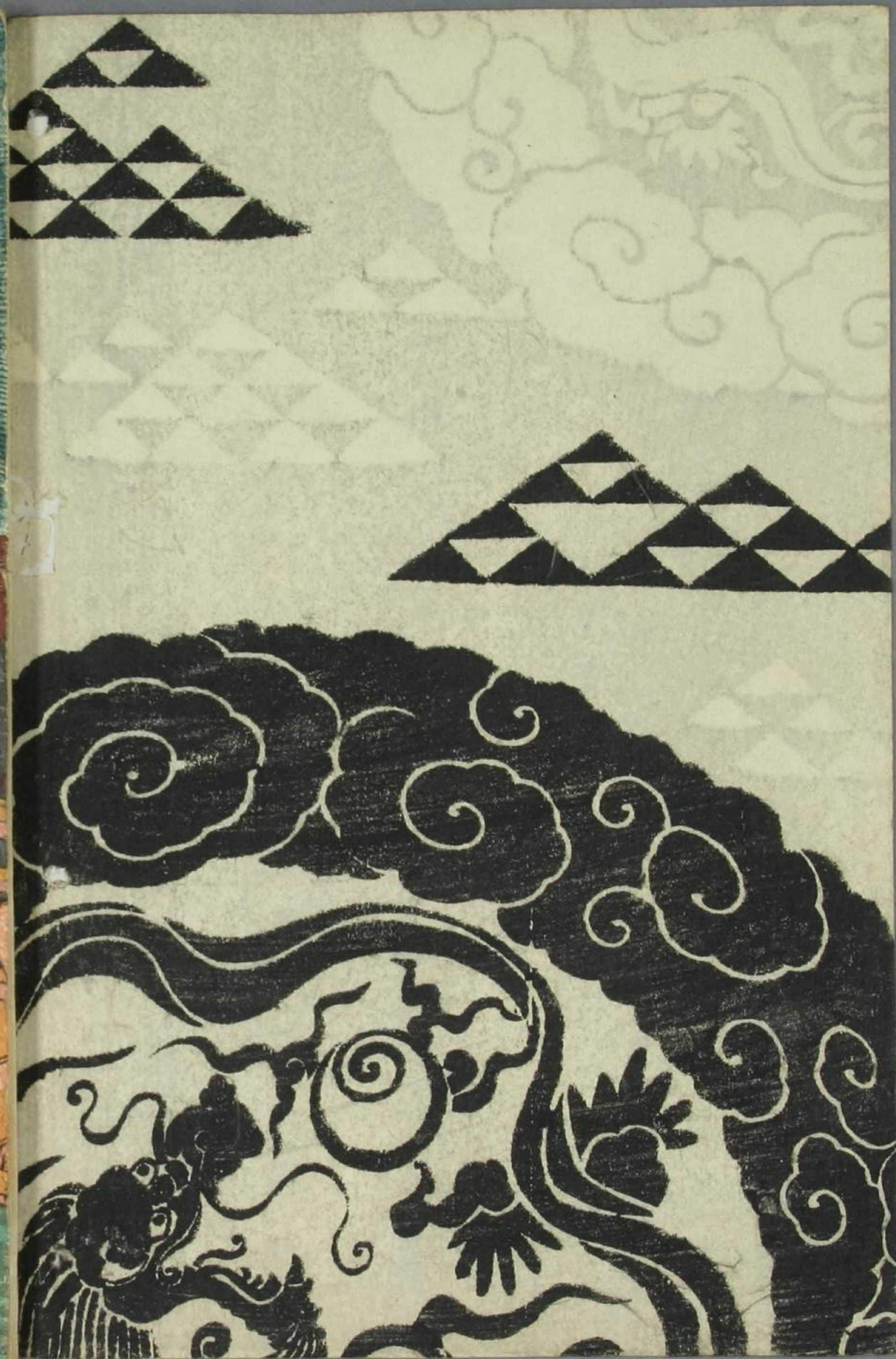












忘く短冊ふちりて減去る友人より贈らば冬這ふ死僕が  
 警めありと常座右の屏風小張く年許多らち詠むも  
 夜延の油盤る頃去り翼とそへ敏起てと思めて寐ざる宵へ  
 ろくもど枕加減のよ死すも小雀の餌をこみ集り鳴くも  
 隣家小朝餉の跡洗ふ音も現心小听かぐせも早晩も朝顔の  
 盛り知知らむも介汝けりとも死物申の声小胸うち潰もて起  
 出せ喜鶴堂の使來りく借十編の奈何と言つともまご覚  
 中ね巳の時の眼をとまもりつ筆を染ぬ

庚申初春良辰

為永春水記也

夜も明けりて夢夜ほくらうのさふ似く  
 鈴露と宵のやうけんの巾 山陽

西國 奇蹟



十編の二



一喜の鳥画  
為永著

佐野喜



西国奇談十



木村  
龍太郎



西国奇談



















西國

奇談

春水補綴

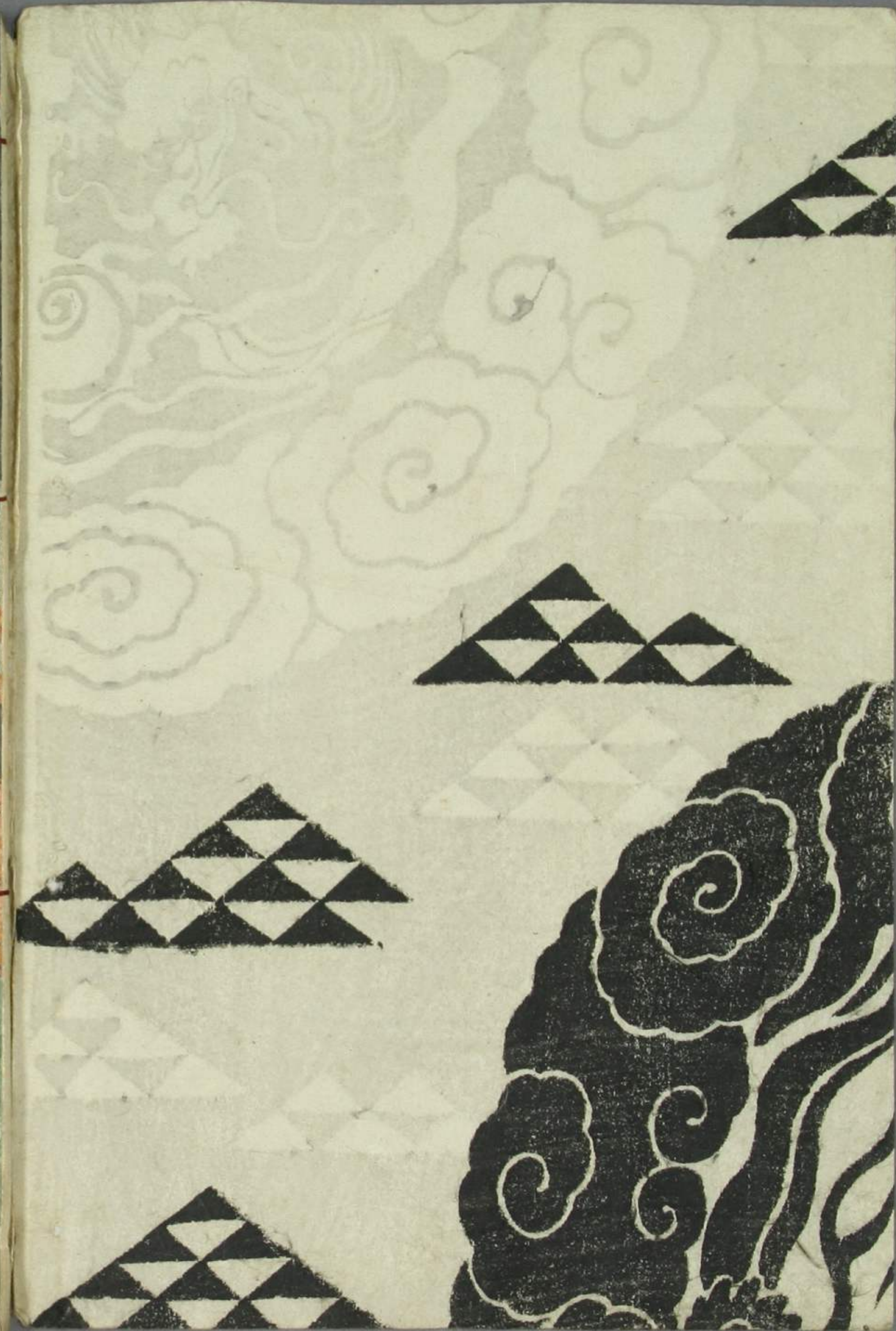
國貞画

根源實紫新刻概畧

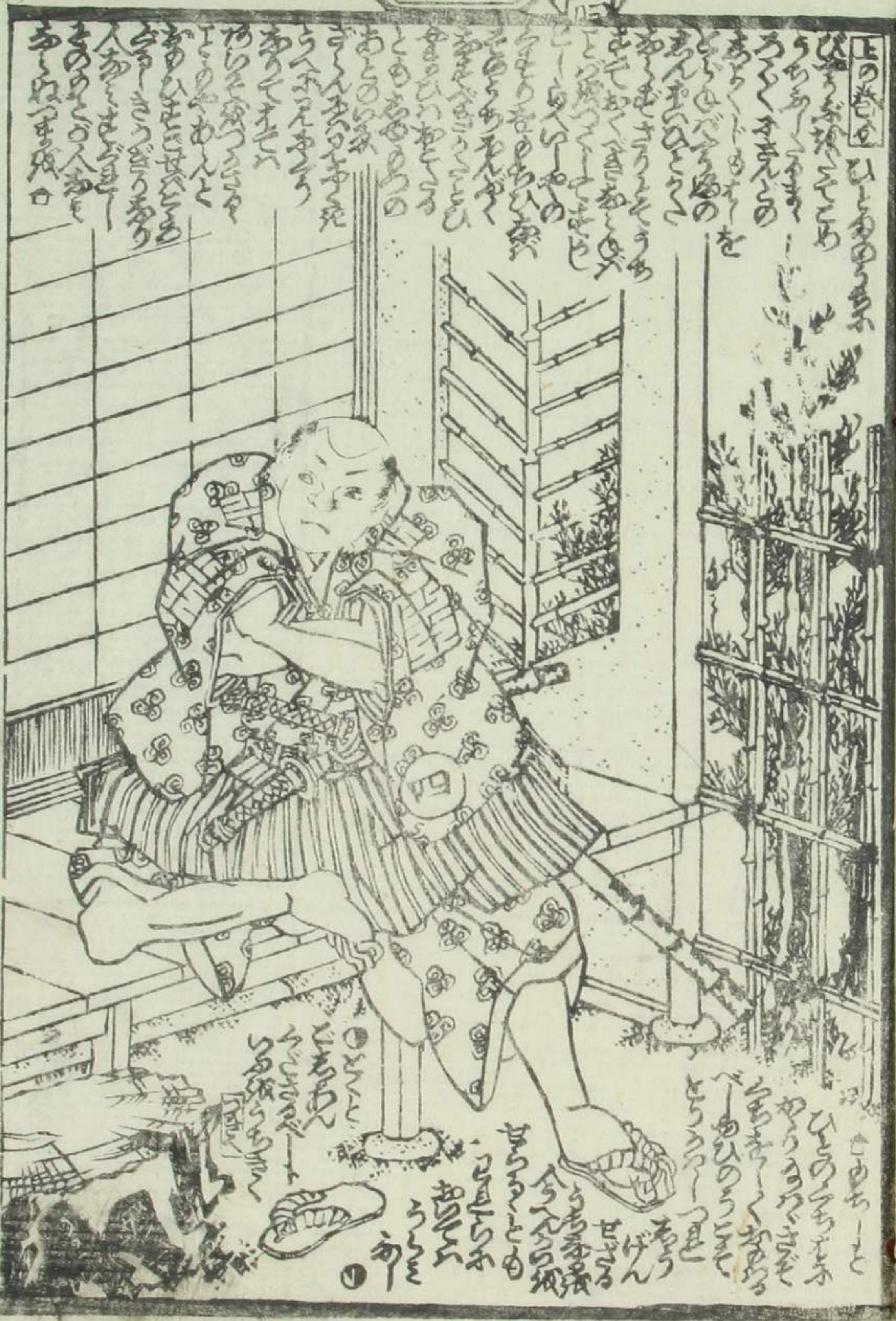
作者柳亭種彦

十三編 惟規の北海の危難 鳴高他を謀て自つて天の網船 按手兒釣出す花園  
 の遊宴 式部が画賛へ兎謀の種村心の火性 小浮氣の水性 一者 妙術 醜婦 忽ち  
 美人 化る 十四編 小鮮の食嗜 水の即吟 とも 八幡の宇依 兎 宣奉 宰府のかり 寐  
 夢のやうき 幻の譚 小始り 現のやうき 夢中の奇遇の半 五編 心 筑紫の夢 竟て 於  
 信濃 灌く 袖の淺 菅 絃 講 香 原 節 死 室 留 本 小 け ず 飲 わ ぬ 又 悲 式 部 兎 の 談 話 也

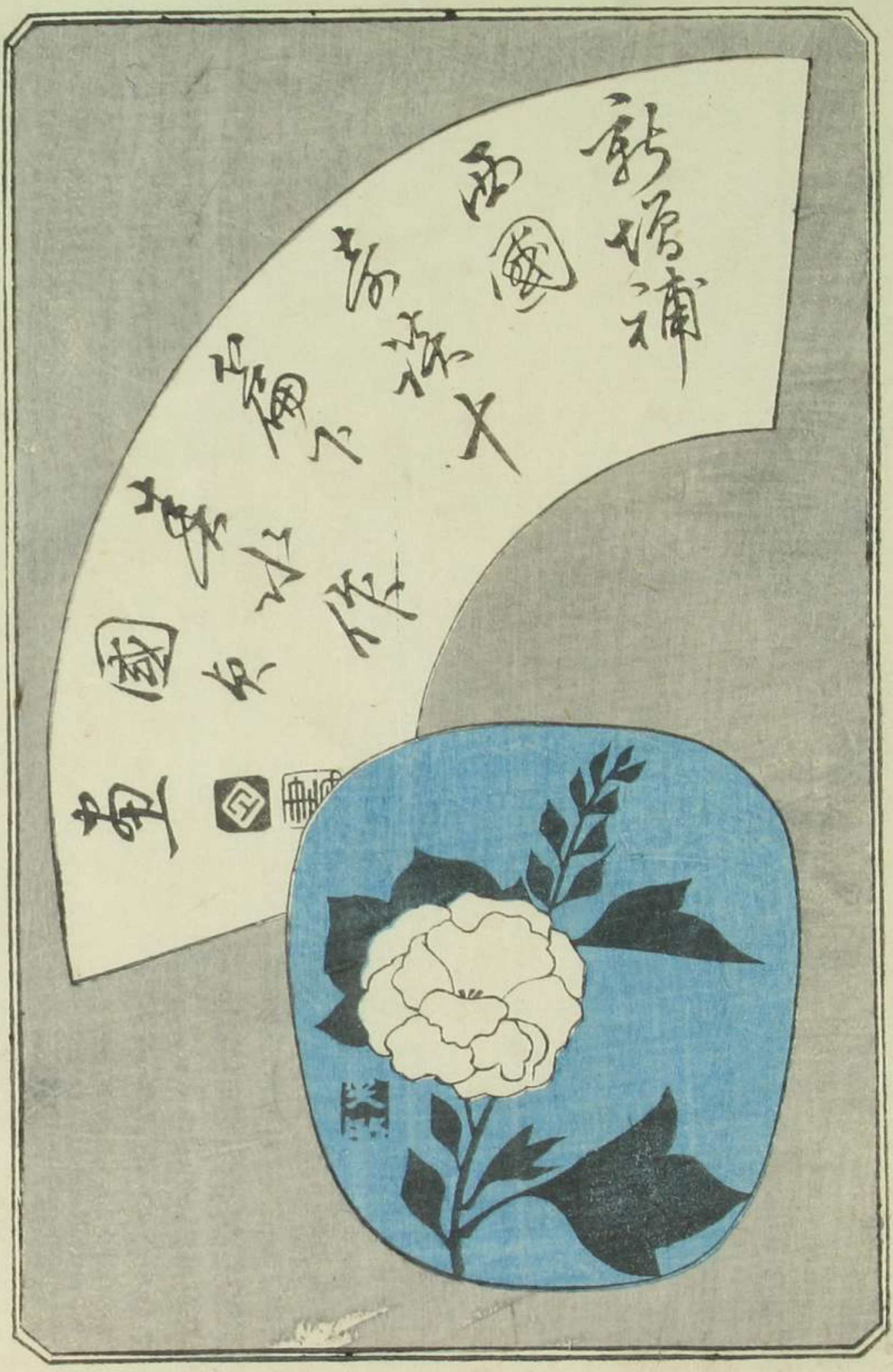
十編 上面次 好言と叫り、重相 又 お 依 さん と して 何 杉 忠 義 の  
 力のうら 上面次 只 管 燈 と 促し 又 方便の裏と かくれ 暗小 醜婦 を  
 娶ふの一段 話 説 か つ 同 童 々 々 残 毒 と 一 給 心 の 一 端 十 編 の  
 小童 浴室 あり 虚井の守袋 と なる ところ 其の 爲に 誓 する 貞 と かく  
 及 同 苦 幻 の 計 あり かの 秋 風 を 欺く 二 段 譚 最 巧 み あり  
 十二編 秋 風 虚 井 毒 手 小 け ず て 終 小 非 命 小 死 小 け ず 殺 生 石 の  
 一 奇 談 一 つ 龍 太 郎 小 け ず 此 間 小 上 面 次 八 重 相 小 け ず  
 一 奇 談 一 つ 龍 太 郎 小 け ず 此 間 小 上 面 次 八 重 相 小 け ず



三



1000



新増補

西海

西海  
新増補  
作  
水  
國  
堂

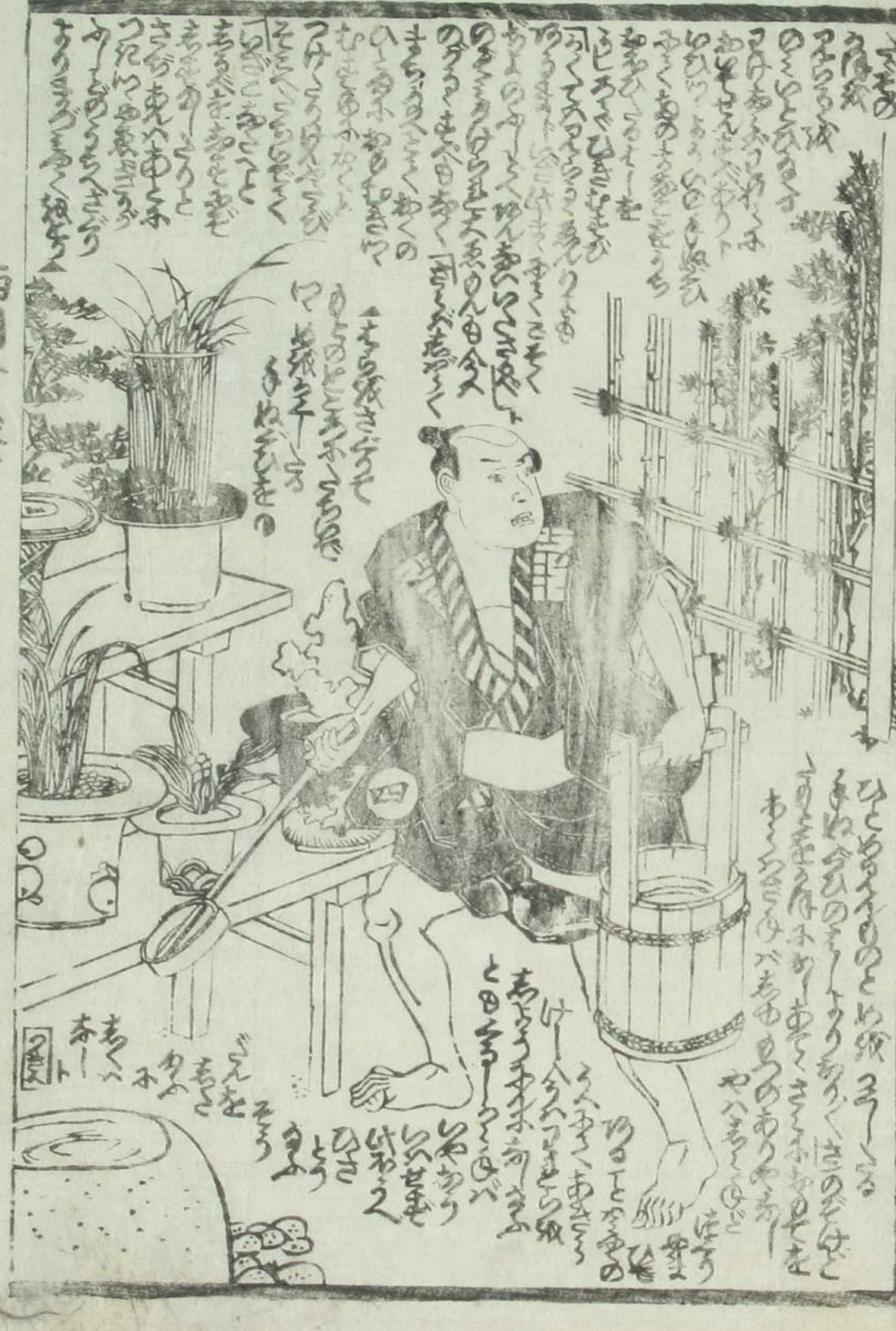
















Calligraphic text in the upper portion of the left panel, including the characters '茶室' (Tea Room) and '西園' (Seien).

Calligraphic text in the lower portion of the left panel, including the characters '茶室' (Tea Room) and '西園' (Seien).

Handwritten text in the upper right section of the right page, likely a chapter heading or introductory text.



Handwritten text in the lower right section of the right page, providing commentary or dialogue related to the illustration.

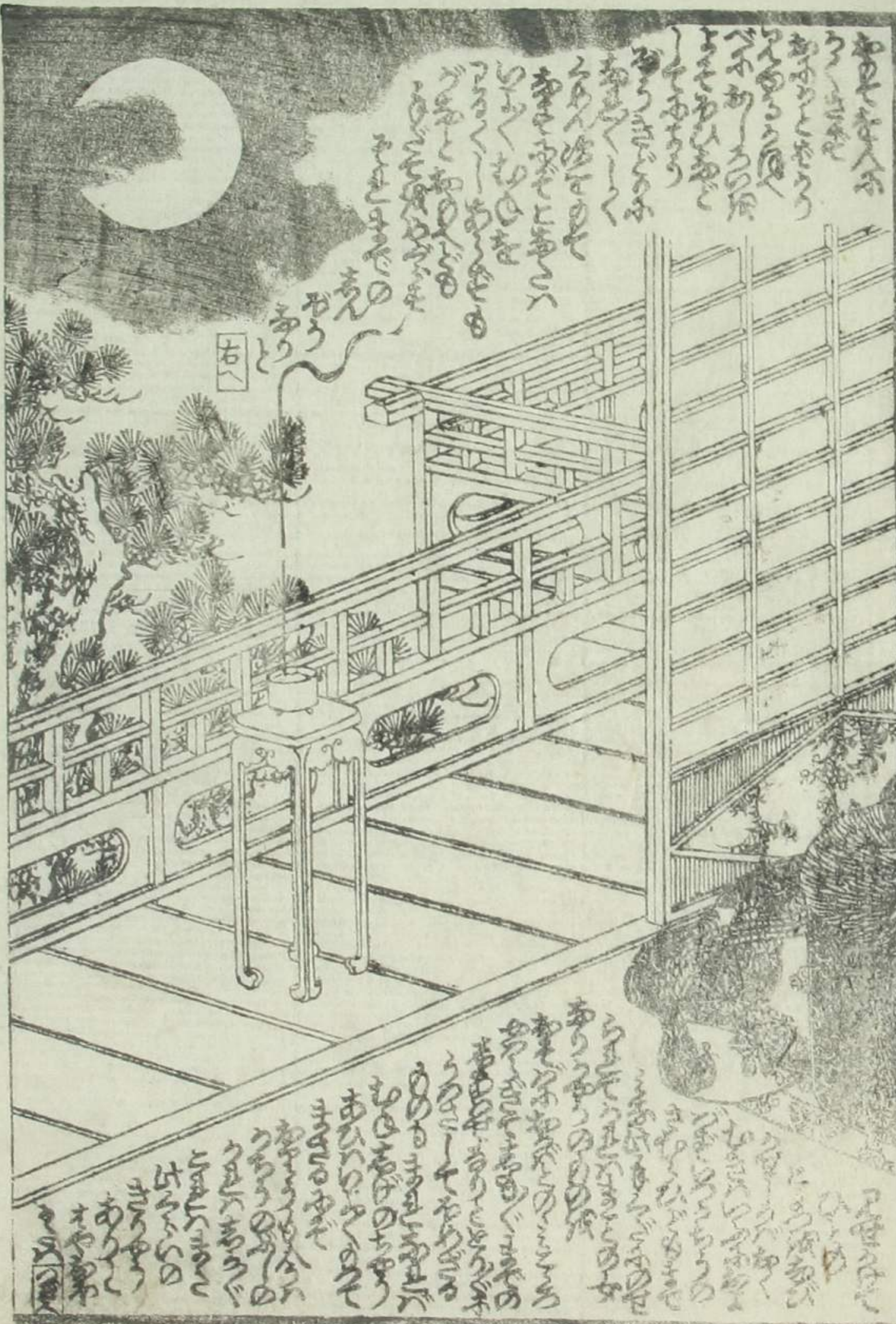
Handwritten text in the upper left section of the left page, continuing the narrative or providing commentary.



Handwritten text in the lower left section of the left page, providing commentary or dialogue related to the illustration.

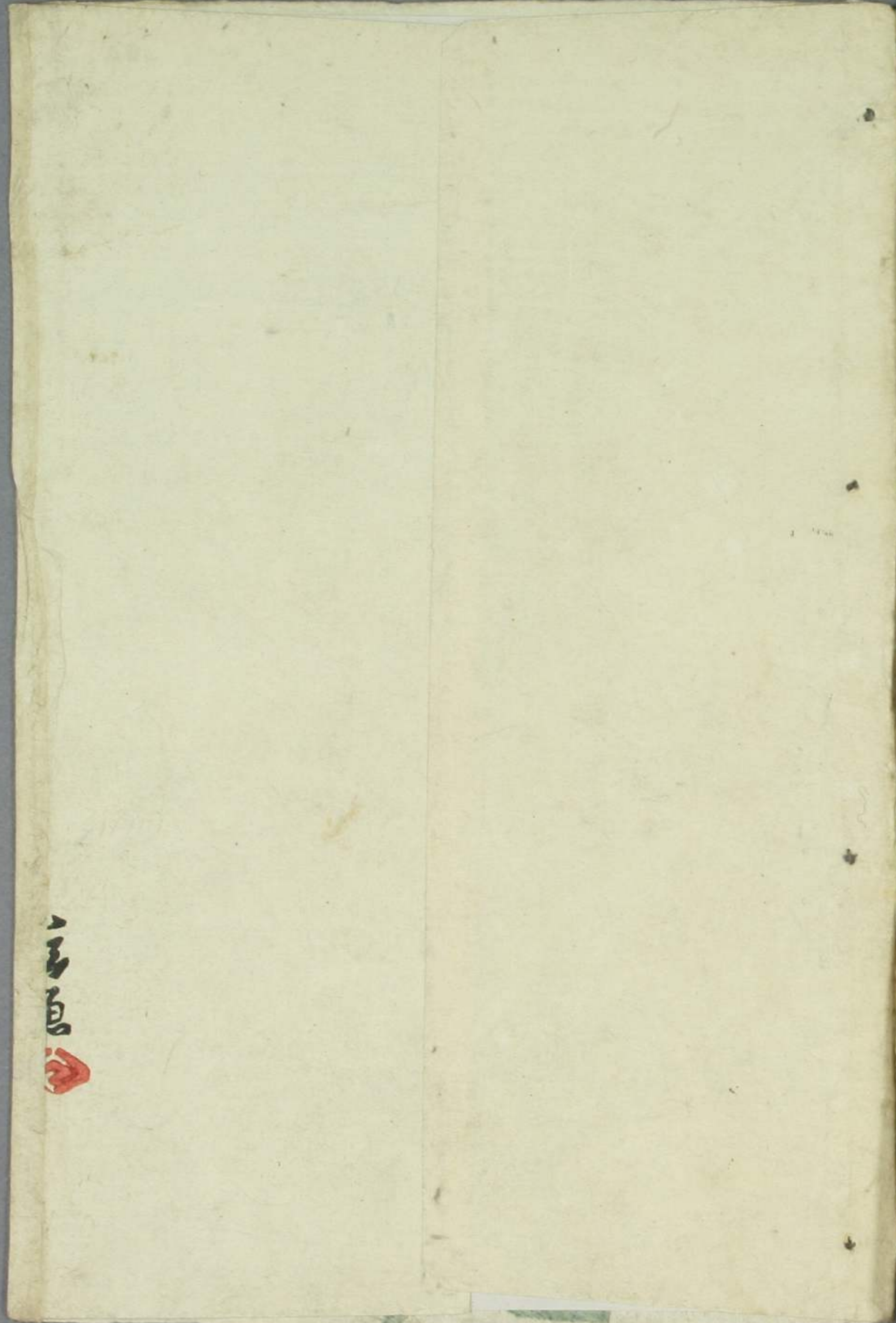
Vertical handwritten text on the far left edge of the left page.











1234



國圖畫

新播補

春水補鑑

西

さ

い

こ

く

き

だ

ん

佐の屋樺



十編全二冊